



【 子供のために思う判断と行動 】

○ 井波小学校では、朝の児童玄関の開錠時刻を7:45としています。昨年度は、大変早い時間に登校する子供が多かったのですが、今年度はかなり減りました。家族の方のおかげです。ただ現実問題、早い時刻に登校する子供はいます。



私は、それはあり得ることだと思います。例えば、天気の良い日は、天気の悪い日より早く歩けるため、早く登校するだろうと思います。基本的には、今年度、早く登校する子供がいても、7:45に児童玄関を開錠していました。

○ ところが、冬、雪が降る日や、0度前後の日は、大変寒いです。このような日、私は朝、校庭に立っていて、5~10分経つと、寒さでブルブル増えていました。その体験があるので、私は教職員に対して、「このような日には、7:45前でも子供が児童玄関に立っていたら、開錠して中に入れてください。」と伝えていました。その後、状況によっては、7:38、7:42頃に開錠されていました。私は、教職員の様子を見て嬉しく思っていました。私は、次のようなことを教職員に伝えていました。

私には、次のような経験がある。それは、・・・「日帰り風呂に入るため、ある温泉地に行った。決まりでは、『日帰り風呂の開始は午後2時』だった。初めてその温泉地に行った私は、券にそう書いてあるの見逃しており、お昼の12時頃に行ったのである。私は、その管理者から『午後2時開始。』と言われて、『あー、入れないのか。』とショックを受けた。すると、その管理者は、『もう風呂の掃除が終わっている頃だと思います。せつかくここまで来られたので、どうぞ入ってください。』と、笑顔で言われた。その時私は、本当に嬉しくありがたく思った。そして、この温泉地の人を大切に思う心遣いに感激した。』・・・という経験である。

朝、寒い中、決まりだからと言って、子供をずっと外に待たせるのか、あるいは、子供のことを思って決まり通りではなく、開錠して中に入れるのか、そこが人の心のあり様によって、大きく異なる。健康面も含め、子供のために思う判断と行動が、子供、保護者にもきっと伝わる。

○ 上記は、私の人生観でもあります。教職員が私の経験と人生観を受け止め、子供のために行動したことは、今後の生き方の一つの拠り所となるよう期待しています。